

経営学部 経営学科(取得可能免許種:高等学校／商業・情報)

組織経営、ICT、マーケティング、会計・ファイナンスに関する基礎的な理論と知識を身につけるとともに、関連分野における新しい価値創造に必要な知識と技術をわかりやすく生徒に理解させるために必要な技能を身につける。その目的を達成するために、座学のみならず実習・演習教育にも力を入れ、多様な人々と円滑なコミュニケーションを図る能力を養うとともに、多角的な観点から思考し判断して問題解決できる能力の育成を図る。

こうした教育方針を基盤として、同学科では大学の教員養成に対する理念に基づき、主として以下の点に重点をおきながら、高度な資質をもつ教員の養成を目指す。

(ア) 社会科学としての経営諸分野の基礎をなす幅広い知識・技術を身につけた総合力のある教員を育成する。

(イ) 組織経営、ICT、マーケティング、会計・ファイナンスに関連する諸課題の解決に貢献し、豊かな創造力と強い指導力を有した教員を育成する。

(ウ) 人権を尊重し、教育者としてふさわしい人間力のある人材を育成する。

上記資質をもつ教員を養成するため、同学科においては1年次から4年次まで、組織経営、ICT、マーケティング、会計・ファイナンスに関連した、専門基礎科目、コース専門科目、応用・実践科目をバランス良く配置している。

まず、経営学の知識・技術を身につけるため、1年次に「経営学入門」、「ビジネスデータサイエンス」、「経営情報学入門」、「簿記入門」を必修科目として設定している。「経営学入門」では、経営学各分野の基本的な知識および、企業の活動を分析する能力を養っている。「ビジネスデータサイエンス」は、コンピュータを目的に応じて利用できるようになるための基礎的な知識と技術を修得できる内容として構成している。コンピュータおよびネットワークを使った演習を多く取り入れることで、ビジネスの場面で用いられる情報処理に関する実践力を身につけさせることを目指している。

「経営情報学入門」は、社会におけるICTの役割と利活用について理解し、経営課題のための解決を考える力を養う。

「簿記入門」では、企業などの組織における経済活動を金の動きで捉える手法である簿記についての基礎的能力の修得を目指している。

2年次、3年次に開講している各専門科目においては、学生の興味・関心に応じた4コースからのコース選択により、組織経営、ICT、マーケティング、会計・ファイナンスに関連する専門的知識を学び、企業や自治体などの組織が抱える複雑な課題を解決するための創造力と実践力を身につけさせている。経営学についての幅広い知識を修得するため、自身の選択したコース以外のコース専門科目も履修するように設定している。

また、1年次に「基礎演習」、「専門基礎演習」、2年次に「専門演習 Ia・b」、3年次に「専門演習 IIa・b」のゼミを開講し、担当教員の専門性を活かしたグループワークやディスカッションなどの活動を通して、円滑なコミュニケーション力を養うとともに、人間力の育成を図っている。そして、学びの集大成として、4年次に履修する「卒業研究」で卒業論文をまとめさせる。

各科目において、グループワークやプレゼンテーションを適宜取り入れることで、多様な人とのコミュニケーション能力を養うとともに、ミニッツペーパー等による、授業の理解度・評価等の確認を行っている。また、学生からの質問・意見などにコメントをつけて返却をすることで、双方向型のコミュニケーションツールとしても活用している。